明治四十一年二月二十日第三種郵便物認可 （日刊）月曜及祭日の翌日休刊 明治四十三年七月二十日（水曜日） 第四百六十號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

日露協約と米紙

（水野總領事の報告）

七月十三日當地の重なる新聞紙は一齊に日露協約に付き記事論説を掲げたりヘラルドは密約の存在を疑ひ此協約は米獨兩國を害するのみならず滿洲の門戸開放に關し英米をして新協約を結ばしむるに至るべしと論せし外他の有力なる新聞は皆密約の存在を否定せる吾當局の言を信じ本協約の平和に益あり少なくも無害なるを説き殊にトリビューンは國務省の意見は全然日露政府と一致せり此協約は極東の政局より誤解を除く門戸開放主義に反せず米國にも害なく平和の保障たり唯米國に對する日露兩國の經濟的競爭は一層活潑となるべきも政治的のものにあらず若し曩のノックスの提議にして本協約の成立を促したりとせば以て提議の結果の良好なりしを知るべしと論せり尚ほ諸新聞共本協約に關する日露の商議が昨年十一月開始されたりとの我當局の宣言に依り滿洲鐵道中立提議が此協約的の原因にあらざるを反證し得べしとて一般に良好なる感想を以て記し居れり

鎭海十年計劃

鎭海灣は四十三年度豫算には繼續年限を示さずして單に繼續的事業費のみを計上したる海軍省所管鎭海灣防備費に就ては廿六議會に於ける豫算分科會に於て齋藤海相より委曲の内示的説明ありたるも明四十四年度に於ては當然繼續費目の要求をなさゞるべからざると共に其の繼續年度割等をも豫算に明示せざるべからざるを以て海軍省は昨今豫算の編成期に入ると共に考慮を重ねつゝある由なるが其防備設備に就て聞く所に依れば同灣が單に灣内廣濶にして青森灣以上の巨砲發射試驗場たるに適當せるのみならず朝鮮海峽を扼する國防上優越なる地形を占め居る事は日本海々戰の明かに證明する所なると共に一方内地各軍港の現状は軍港經營の當初は列國海軍對日本の今日を豫想して計畫されたるものに非ずして臨機擴張を行はれたるものなれば帝國第一の軍港及び工廠所在地たる呉の如き地形上既に殆んど規模擴張の餘地なきを以て旁々同灣の整備と共に更らに陸上（懸洞方面か）に理想的軍港工廠を營造し以て國勢今後の發展と海軍力補充に資せん目的を以て明年度以降十年の繼續計畫を樹て年割額約百萬圓合計千二三百万圓を以て之が防禦經營を實行するに省議略一決したりとの説あり

滿鐵地峽開鑿

南滿鐵道にては旅順口なる老虎尾半島の地峽部ともいふべき本土との最狹接續點を開鑿して曩に開放せられたる西港と旅順口外との連絡を圖らんとの計畫あり目下顧問キース、パンフレンド兩氏及び久保調査課長これが主任となりて種々調査の由なるが該計畫によれば西港の西南部即ち老虎尾地峽に至るべき一體の海面は概ね淺瀬にして港灣たるの用をなさゞるを以て同地に適當なる水道を設けて地峽部を開鑿し以て船舶の出入を自由ならしめんとするにありて今やその筋との内交渉中にて遠からず正式に開鑿認可を申請すべしといへるがその實行期は資金の關係もあり早くも四十五年ならではこれに着手するに至らざるべしといふ

●日露鐵道聯絡會議

南滿鐵道と東清鐵道との聯絡協定は既に成り目下文書の起草中なるが日本内地と露國鐵道との聯絡については木下鐵道院營業課長關係方面と打合せの結果を齎し近く露都に赴くことになりたるを以て多分八月十五日頃より聯絡會議を開くことゝなるべしと

●釜山製氷所の近況

製氷の状況は未だ冷藏庫を使用せざると多量の製氷需用なきとに依り目下は六噸製氷機のみ運轉し居れるが販路及需用の状況は先月中漁業の不況なると天候不良のため魚類冷却用及び飲料用共に需用高極めて少なく今尚水產會社のみにても在來輸入氷約百噸を殘存し從て六月中の製氷は全部冷藏するの狀態なるも七月に入りては幸に漁業回復し且つ盛夏の候に際するを以て需用激增し來れり而して五月中の製氷高は二十九萬二千九百封度にして同月中の販賣數は二十二万五千七百七十七封度製氷販賣代價一封度に付き五厘五毛宛にて販賣先は釜山水產會社なりと

地方通信

▲平壤通信

▲其後の水道問題 屢々報道したる當地水道問題に就て汲水夫等は各自の所有する給水權利株につき其權利を主張する爲め政府より何等かの處置を得べく其の請願を當地辯護士森肇氏に依囑せしを以て森氏は爾來水道及警察等に交渉を重ねつゝあり内部に於ても今回の事件に就ては嚴に給水請負販賣人より嘆願せし所もあり且つ汲水夫等の内情亦た大に洞察すべき點尠からざると何日までも給水販賣を開始せざる譯にも行兼るより兩三日前是等の事情調査の爲め佐治事務官出張し來り種々調査の上汲水夫の重立ちたるものを呼出して説諭する所ありたるも彼等は何等かの處置を得るに非れば二百五十餘名總て家族と共に餓死を待つの外なしと其理由及び從來の營業狀態並に權利株につき詳細なる書面を認め尚ほ日本に於て煙草專賣制度を採り官營と爲すに當りて營業者に多大の代償を爲したるを始め國家が個人營業の權利を奪ひ又は之れに損害を與ふる場合には世界各國の實例に徵しても必ず之れが代償を爲しつゝある理由を記し平壤の汲水夫亦相當資本を投じて營業しつゝあるものなれば今此の營業權の實質を根本的に政府に於て褫奪するに當りては是非とも相當の代償ありたしとの趣旨にて内部大臣に宛て請願書を佐治事務官の手許まで差出せしが同事務官歸任の上參與官會議に提出して其處分を了る可く一方水道に於ては此の解決を俟たずして汲水夫等には何等かの特典を與へ或は事件の解決まで無料給水等の方法により汲水夫等の承諾を得て四五日中より兎も角一般の給水を開始せむ目論見なりといふが昨今の處にては汲水夫等も政府に善良なる處置を仰がん爲め甚だ平穩を裝ひ居れども給水開始の處置方法の次第によりては又々由々しき騷擾をも惹起すべしと察せらるゝ狀況なり

▲埃及人の旗じるし

埃及人の軍隊では、一團毎に別々な旗章がある、で其の數から見ても種類の上から見ても仲々多い、そして其の旗章になつて居るものは、獸や鳥、蟲や小舟などが其の主要なるものである。一體此等の獸や鳥、蟲や小舟なぞは埃及人が兼てから大變に貴み崇めて居るもので、戰の旗章に用ゐる少からぬ勇氣と力とを與へて居た。此の色々樣々な旗章の文字は大抵縣文の字句を其の儘使たものが多い。此等の旗を持つ人の場所は何時も大いいいいいい、嚴注意して定められる、のみならず審しい手柄を立てた人でなければ此の旗持といふ役目を務めることは出來なかつたものである。

文苑

▲春畝公詩存拔萃

△早起

早起擁衾對碧叢。蕭嘯風落看飛鴻。茅屋炒烟麥隴中。造化元知無與奪。世途難免有窮通。人間何處均勞逸。勿說不如田舍翁。

講談

大岡政談 越後傳吉

旭堂南陵講

第二十六回

傳吉は何しても故郷へ歸り鋤鍬を執るとも寶田村で暮したいからその事を話し強て暇を下さいと申込みましたので四郎左衛門も 四「それほど眼の決つてあることなら仕樣がない、お前さんは堅いお方だからそりやア女郎屋などは嫌だらう、イヤ道理だ、ちやア斯うしませう一寸もう二月ばかり待てくれ 傳「ハイ 四「お前に茲で俄かにパッと出られてしまふと誠に家は後の始末に困るから、その間に乃公もお前の後任を見附け、お前も何か此人物なら乃公の後繼が出來るといふやうな人間を見立てゝくれ 傳「畏まりましてございます」 傳吉も大勢使つてゐる間に、われかこれかと見立てゝ居る中、早いものでもう二月經てしまふ 傳「旦那何うぞお暇を…… 四「サアいろ〳〵乃公も後の始末を着けんならぬ氣の毒だがもう二月 傳「誠に困ります、そんなことを言つて居る間に月日が經つてしまひます何うか早う故郷へ歸りたうございますから旦那濟みませんが、お暇を戴きたうございます 四「幸ひなア、お前に暇を取らるのは……仕樣がない、ではいつて置くがね、若し故郷へ歸つて面白くなかつたら、また江戸へ歸つてくれ、お前ばかりはイッ何時來なすつても此方ア手を受けて待て居るから 傳「有難う存じます」 重兵衛といふものが傳吉の仕込みの正直な男ですから四郎左衛門は之を傳吉の後に据る事にいたし、いよ〳〵傳吉は故郷へ歸るやうになりました、サアこれを聞いたのは仲之町の引手茶屋、何しろ大籬の番頭が故郷へ歸るといふのですから、彼所からも此所からも餞別が大變に集る、主人からも大きに御苦勞といふので傳吉への慰勞二百七十兩の處へ三十兩の金子を足して貰つて三百兩の金子、路銀、土產物なんぞはもう衆から集るから自分は少しも金が要ない三百兩は悉皆金で持て歸るといふ始末斯云人は滅多にないから見送らうといふので、三浦屋の樓中の者はいふも更なり仲之町引手茶屋の連中が揃ひまして、大勢板橋まで見送つて參る、小松屋で別れ、傳吉が 傳「皆さま、長らくの間お交際下さいまして有難う存じます、それではこれで故郷へ歸して戴きますから ○「イヤア傳吉さん、吉原のあらん限りお前さんの噂は殘つて行きますぜ、マアお壯健でお暮しなさい 傳「有難う存じます ○「また早く江戸へお來でになりますやう此處で手打をいたして一同の衆に見送られ、故郷へ土產の錦には二枚緞錦や一枚重ね、足を早めて傳吉が、肩には振掛けの荷物に三度笠、越後ヶ望んで參ります、尤も衣類は荷物といたしまして二日も三日も前に出してございますが、三百兩の金子の懷中に在るのが餘ほど重い、只今は三百兩や五百兩の金子は重いも輕いもございませんが、併し昔の金子で三百兩も懷中に入れてゐると餘程重いものです、道中には旅偸盜といふ惡黨が出ると聞て居る、人を見たら盜人と思へ、火を見たら火事と思へ、傳吉もその心得がありますから中々油斷はいたしません、丁度掛つて參りましたのは大田切小田切といふ淋しい處、斯ういふ處は何でも早う通つてしまひたいと思ふからタッ〳〵足に任して傳吉が急ぐ ○「オウーイ、旦那どうん、一寸待つとくんなさいましよーウ、オウーイ 傳「アッハーア誰か知らぬが呼んで居る、惡い奴が道伴れになるのぢやアないか知らピク〳〵として傳吉振返つて見ると、此方へバタ〳〵ッと駆けて參りました一人の男、年配三十二三歳、色の淺黑い眼のパッチリとした、きりゝと締つた顔附、扮裝を見ると木綿づくめ、脚袢甲掛け草鞋、腰には一寸道中差し、決して良いものではございませんが一本打込んで居る一寸した荷物を振掛けにいたして、背に三度笠を[illegible]て居るところ[illegible]道中商人 男「イヤ旦那さん、何うも濟みません、お呼び立ていたして濟まんことで 傳「ハア、何か御用で…… 男「ナニ、用も何もありやアしません、乃公ア江州の木綿商人で 傳「ヘエ 男「近江屋新助といふ者でございます 傳「ハイ 新「越後の方へ商賣用で參りますが 傳「ハア 新「ところがね、ヘッヘ、、、、、道中だけは年中いたして居りますから、馴れちやア居りますが、誠に物騷なのはこの邊で、能く脅迫が出るんでございます



東京電報

▲怪しき韓人徘徊 山口に怪しき韓人徘徊し寺内統監の警戒嚴重を極む(十九日)

▲ル氏北韓虎狩 前米國大統領ルーズベルト氏は靜養後東洋に遊び北韓の虎狩を試みんとの意を漏せりと(同上)

▲韓太子鳥取發 韓太子は今十九日午前九時臨時列車にて鳥取御出發松崎に成らせられ各所御見物午後四時發倉吉に御着今夜は飛龍閣に一泊せらる岡島取締、原事は韓太子に御案内の爲め隨行せり(同上)

▲鐵道改良財源 四十四年度政府の經費に係る鐵道建設改良費約四千二百万圓なるが同年度に鐵道建設償費は三百五十万圓にして總計四千五百五十萬圓の財源を求めざる可からず結局全部借入金に仰ぐの姑息手段を取るの外なかるべしと(同上)

▲條約廢棄通告 日本政府は一昨十七日付を以て英國、獨逸、伊太利、西班牙、葡萄牙、瑞西、和蘭、丁抹其他の各國に對し三十二年七月十七日締結したる通商航海其他各條約は明年七月十七日滿期に付廢棄する旨の通告を發したり(同上)

▲陸軍卿京都見物 米國陸軍卿ヂツキンソン氏比律賓副總督ケルベルト氏の一行は昨十八日京都着各所を觀光し神戸より乘船比律賓に渡航す(同上)

論説

經濟協會七月例會

松崎博士の講演

韓國經濟協會は十八日午後六時半より其七月例會を當地京城ホテルに開催せり來賓は目下滯京中なる帝國大學教授法學博士松崎藏之助氏にて當夜の出席會員は宇佐川、石塚、山口、本田、小宮、吉原、俵、林、井上、三浦、市原、三島、木村、水越の諸氏其他五十餘名七時半晩餐を始め食事中峯岸幹事より會務の報告あり、續いて食事を了り市原幹事長起つて來賓松崎博士に向かつて一場の挨拶をなし夫より博士は會員一同の希望に依り起つて大要左の講演を爲したり

予は始めて朝鮮の地を踏みしが釜山に上陸し京城を經て安東に至る間先づ感じたるは到處經濟狀態其他悉く同一調子なることなり例へば韓人の衣服は皆同じ原料を以て製造し家屋も亦同じ建築方法に依れり夫れに就て、予は經濟進歩の階段若くは其の歷史を觀察したり原來法律制度と國民の經濟狀態とは密接の關係を有するものなるも、日本現代の如き複雜なる狀態に在る時は決して見る能はざるところのものを見るを得て、曾て机上に試みたる推論と現在見る處とが全然一致したるを證據立て非常なる興味を感じたり、朝鮮の現在の經濟組織を見るに殆んど日本の王朝時代の夫れと相同じ、歷史には屢饑饉ありしことを載せ朝鮮も亦爾るを語るは人民に貯蓄なきが爲めなり、其因暴政の結果なりしやも知れざるも、經濟上の原因を索ぬれば自ら貯蓄を必要とせざる組織なるが爲めなりと云ふを得ん、开は日本に於ても稀に山間の僻地等に存する如き、自給自足の法を採れるが爲めなり、要するに彼等は自ら產出して自ら消費し生活の資料[illegible]れば即ち可なりとするものにして、惡政之れに加はりて所謂「手から口」に生存せり、斯くて彼等は李朝五百年假し善政を布かれたりとも、彼の堯舜の民といふが如けんのみ、故に將來人民の福利を增進せんには現在の經濟組織を改革するを要せずや、

予の見る處を以てすれば、朝鮮人の自給自足主義は又行政上にも現はる今は大に改革されたれども往時は、例へば彼の郡守、面長の如きも裁判收税等の事務を取扱へり、一つの小なる行政區劃に於てすら爾り、若し夫れ高等行政區劃に至りては、宛然小朝鮮國たりしなり、中央に國王在るも唯名のみにはあらざりし歟、近來改革遂りに行はれ組織變更せられたるも、經濟組織は未だ舊態に依るが如し、之れを以て行政上の改革と相協へりやは問題なりとす、

朝鮮に於ては未だ經濟上の分業を見ざれども行政上には开を實現されたり、一つの行政事項例へば收税、教育等何れも中央に其の中心在りて夫れより分派せる最下級の機關と連絡を有てり斯るを行政上の統一といふ即ち從來の行政組織は横に切れたりしが、今次縱に長く截れ上下の脈絡を保つことゝなりしなり、這は國民の經濟狀態と大なる關係を有するものなるが、朝鮮人の自給自足主義は資本的組織にあらず、固より商工業の分業行はれず、商業の中にも全國に亘れる連絡なし、若し之れを資本的組織に改むるを得ば初めて經濟上の中心と、其の全國に亘れる連絡と生じ、行政上の改革と相並びて民福を增進するを得べし、

予の觀察に依れば、從來朝鮮の貨幣は普通貨幣の効用を爲さず、單に支拂の手段、切言すれば租税納付又は貸借の授受等に使用されつゝあるを見る其の價格の尺度若くは交換の媒介を成すてふ貨幣の本來の性質を遺忘され物々交換の舊慣依然として行はるといふに至つては、朝鮮人が惡政に慣て支配されずとも、而かも現今の如き經濟狀態ならば決して不幸の民には非らされども、經濟上の進歩は得て望むべからざるを覺ふ、

予は叙上の見地よりして、行政の改革に伴ふて、經濟組織を改革するの必要を認む、國民は經濟上の進歩變遷よりして惡政同樣の苦みを爲す者あるやも知れず、若し生產が消費の爲めにするにあらずして、賣りて貨幣を得る爲めならんには、朝鮮に於ては日清、日露兩度の戰役の結果、物品を高價に賣る習慣を生せり、勞銀の如きも新開國に於てのみ見る高價なれば、此の點は韓人の幸なれども併しながら一度貨幣が交換の媒介價格の尺度たるの働きを爲すことゝなり、朝鮮人の働く總てが貨幣に依て計らるゝに至らば、貨幣の爲めに苦しみ或は複滅するもあらんか經濟上憂慮すべきことなり、去りながら忍ばざるべからざる處は即ち之れを忍むで、貨幣が貨幣としての働きを強めんには、万般の法律制度が同じ方向に促進するを要す、貨幣の働きは他方面より見れば學者の所謂個人主義が法律上認めらるゝに非らざれば能はず、朝鮮は古來個人本位にあらざりしを以て韓人は納税に際して一家一門の間に連帶の責任を負はしめざる現今の税制に慊らざるものなりと聞く之れ税制が個人主義を認めたる結果なるが、如斯個人主義が法制に認めらるゝに方りては從來の經濟組織は同時に變化するの必要あり否らざれば法律制度の運用も亦妙ならざるものあるべきなり、故に經濟組織と法律制度とは必ず一致せしめざるべからず、併しながら内地よりの移住民の如きは、朝鮮韓人の經濟狀態が如何なる程度に在るとも同樣の經濟組織を採用するを必要とす否らざれば永く安穩に定住する能はざるに至るべし、

最後に予は日本土產として、本國の經濟狀態を紹介せんに、日露大戰爭後に於ける我經濟界の大打擊は太だ大なりしも、彼の普佛戰爭後に歐洲を擧げて否米國に迄及ぼしたる當時の夫れに比すれば較輕きものあり、固より經濟上の施設備はれる爲めならん、而して今や創痍癒えて是れより健康體に復せんとす、されば今後は内地の資本家も爲政家も朝鮮に對し施設經營を爲すの餘裕を有することゝなるべし云々

寺内統監の威望

時局に對する當局の嚴戒は實に驚嘆すべき程なるが之が爲めか先天的官動性なる韓人も遂に畏縮して其沈靜なる事殆んど意表の外に在り而して其當局の語る處によれば此現象は寺内統監新任の一大効果にして流石の彼等も此際濫りなる行動を演ずれば如何なる憂目を見るやも知れずと懸念し特更愼重を裝ひ居る爲めなり則ち新統監の威望は如何に半島の山河を壓したるか以て見るべきなりと

●京城分隊管轄區域 警備機關統一後に於ける各分隊及警察の管轄區域は今尚ほ考查中に屬するを以て現在の處にては依然從來の制度を繼承し居るが唯だ地方は一刻も緩ふし難き事情あるを以て既に内定の配置計畫に基き着々實行を急ぎ何れ統監着任後に於て府令を發して之を公施せらるべし而して總監部直轄下に屬する京城憲兵分隊は第一分隊を司令部構内に第二分隊を元警視廳第二課跡に設置せられ共管轄區域に就ては如上の次第に就き彼是の區別を置かず京城一圓悉く警備し居れる有樣なり然れども這は過渡期の一現象に過ぎざれば遠からず相互の區劃を定めらるべし今其内定せるものを聽くに現警察は鐘路の堀割より南北に別ちたれば憲兵分隊は之を十字線に書斷し其東西を分轄するに到るべし以て憲兵警察相依り相待ちて緩急に處すべしといふ

●衞生警察臨機處分 警察委託と共に特に奇態の狀況を呈せるは内部衞生局なるが元來韓國の現狀たる何種の行政にても警察を離れて完全に活動し得るものなく其中にても衞生事務は最も密接の關係あれば必び非常の不便を免れず然れば此間の方法に就ては孰れ何等かの決定あるべき筈なるが現在の處にては從來の慣行により彼是相待ちて適宜の處分を爲しつゝありと

●地方赤痢病の終熄 一時流行蔓延の兆を呈せし平安北道江界及龍岩浦の赤痢は兩地共百餘名の患者を發したるも去る十三日以後の情報によれば一人の新患者を見ざる如くなれば現在にては全然終熄せるものと見做し得べし而して右發生の原因は不熟果物の過食にて痲疹流行後衰弱せる身體に犯かされたる爲め多數の死亡者を出したるものならんと云ふ

●地方税實施の情況 韓國に於ける地方税徵收實施後恰も半年に相當するを以て内部は各觀察道に令し既往六ヶ月間同税收入の模樣及支出の情態、地方費に依りて計畫せる各事業進捗の實況并地方税に對する一般民心の眞相等を詳細調査せしめ居り

●總監部各課長任命 警務總監部に於て分課規定の制定せられたるは既報の如くなるが官房理事及各課長は左の如く十九日任命ありたり

機密課長 山形中佐
警務課長 中野警務官
保安課長 玄角警視
官房理事 永谷警視

●三氏の賜金内定額 韓政府は今回辭任したる岡、極井、若林の三氏が在職中の功勞に對し夫々賜金の內議ありしが愈々岡前內部次官は六千圓極井前警務局長へは五千圓若林前警視總監へは四千圓を贈る事に內定

●仁川港の統監歡迎 寺内統監は來る廿三日軍艦八雲にて仁川に來着する豫定なるを以て同港在留民は各戶國旗を吊し亦た民團よりは綠門を設け一行着發の際は煙花を打揚ぐべしと云ふ

●屠獸税徵收好成績 韓國政府諸税の徵集は比較的好成績の方なれども各項目共豫算額に達するは少なき中に屠獸税のみは各地共豫算額より超過するを常とすと云へり

●參與官會議の例會 十九日午前十一時より統監府に於て定例參與官會議開會石塚、小宮、木內、俵、國分、明石、大屋、池田、宇佐美の諸氏列席せり

●伊國武官宮中觀覽 伊太利國大使館付武官ガビグリア中佐は十九日午前石井武官同伴景福宮、昌德宮、秘園及博物館を觀覽せり

●副統監の監獄巡視 山縣副統監は十九日午前八時三十分出邸永樂町を經て鐘路監獄を巡視したり

●南大門外道路問題 停車場に通ずる南大門外道路開鑿に就[illegible]に關する禁止を爲したるも爾來三箇月餘を經過するも決定を見るに到らず利害關係者として一方ならず煩悶を重ねしめつゝあり而して右遲延の事情に就ては何人も知る如く南側と北側とに別れ南側は現在道路を擴張して北側は更に新道路を設くるに在りて孰れにも數內地人の關係あり現に或る者は其運動に三万圓にて引受けたりと稱し競爭頗る激甚なるより當局も之を氣構へ殊更決さるゝ次第なりと

●留學生の連袂歸京 暑中休暇を利し韓國留學生の歸國する者漸く增加し來れるが十八日夜の釜山着列車にて二十六名連袂入京したるを以て時節柄注目に値するが如くなれども彼等は至て靜肅にして何等不穩の擧動なし

●昨今の天候 此頃の天候は旬日間に終始變更の模樣あり爲に陰晴不定の憾あり最近低氣壓は黃海道の西部に起り漸次北東に進行の處十九日朝平壤地方に入れり爲に同日朝は平壤に降雨ありしが二十日朝は元山を通じ日本海に退出の豫想なれば二十日後は一時快晴を見るならんも以上不定の天候により當分打續く快晴は望み難からんかと

寺内統監

於春帆樓 小松參與官談

▲故伊藤公及び曾禰子共に文官より出でゝ統監たりしが、今回寺内子武官より出でゝ統監を襲ぐに及び世人が一般に此の際何にか韓國施政の上に別途の鹽梅あるべしと想ふは無理ならぬ事ながら、聊か多くを期するの嫌がある▲寺内子は武官出身には相違なけれども久しく陸軍大臣として行政的智能も充分ある人なれば統監政治の上に大なる**鉈療治**をなすが如き事は非るべし▲久しき間陸軍大臣として韓國の事情にも通じ居れば渡韓後直ちに韓國事情を探ぐると云ふの面倒は少なきも頭腦の緻密なる人なる故詳細の調査を遂ぐるは勿論なり▲合邦の事は多く問はざるを好しとし又た語らざるもよいとす、要は日本の**國是遂行**に在り、合邦以外の方法に於て國是と稱ふものあればこれを斷行するに躊躇せざるべし、國是即ち目的にして合邦即ち手段なり、目的を達する上に於て合邦の手段を取るより外道なしとすれば合邦を遂行すべきなり、此の際事々しく騷ぐの要あらず、胸算別に動かざるものあり矣。▲統監は大事を取れるには相違なきも故らに倣大の**戒嚴**を布じをるが如きこと更になし▲新聞記者に面會せずなど云ふことは噓なり統監は何物をも語らざるに非ず、語り能はざるなり▲僕をして故伊藤公の如き政治家ならしめば歡迎會へも送別會へも出て大に喋舌るけれども一介の武辯なるが故に其の能なし故に新聞記者などに面會した所で其材料なく能く喋舌り能はざるなりと統監は常に語り居れり▲これを故らに緘默して居るかの如く見らるゝは苦痛なりと語り居れり(馬關每日所載)

●太田法學士講演 仁川倶樂部評議員會を明二十一日午後六時より開き晩餐後韓銀仁川支店太田法學士の地方產業に就いてと題する講演ある筈なり

●仁川民長の訓示 岩崎仁川民長は昨十八日午後四時より民團立小學校長以下議員三十餘名を民團役所樓上に召集して一場の訓示的演說を爲したり

●山形中佐の轉居 從來南山町官舍に居せし山形憲兵中佐は廿日を以て和城臺官舍(海軍武官官舍向)に移轉す

●柳崎桂園氏退院 和田病院に入院治療中の大阪每日特派員同氏は來る二十二日頃全快退院するを得べしと云ふ

●國友警視の移轉 國友警視は和城臺小松參與官々舍前に移轉したりと

豫定道路變更

内部は曩に約百萬圓の追加豫算を得て新道路を計畫し此内京城市街の爲めに約四十萬圓を注入する筈なりしが別項の如く道路には兎角邪魔の附き纏ふ事多く其結果豫定計畫に對し尠からず便害を與ふるより土地收用上非常の故障を釀もし現に要急道路さへ其進行を惱むの有樣なり之が爲に彼の櫻井町道路の如きは此際斷然中止を爲し之を地方の經營に振替ゆる筈なりといふ

輸出生牛の狀況

(關税局に於ける調査)

釜山港經由生牛の輸出は隆熙二年六月以前にありては每月千頭乃至二千頭に上り價額最小額尚ほ二万六千圓を下らざりき然るに同年七月以降漸次減少し百頭乃至四百頭に減じ價額亦た二千圓乃至七千圓を普通とし甚しきに至りては一千圓に充たさるに至れり之れ輸出先たる日本に於て牛疫猖獗を極め其病源は清國か又は韓國にありと思考せられ韓牛の輸入を嫌忌せしに因る是に對し韓國政府は昨年八月生牛の檢疫所を設置して韓國輸出牛の安全を保證するに至りしも其後尚未だ增加の趨勢を納むる能はず僅々百頭價額亦た二千圓以外を出さりき是畢竟するに上叙の理由の他日本に於ける財界の沈衰もまた小ならざる原因と見るべし隆熙二年以降最近迄の輸出額は二年一四三三六頭價額三〇七、八三圓同三年二〇八七頭價額三七、八五一圓四年四月迄四百八十八頭價額七三九六圓に過ぎず▲輸出先は山口縣に最も多く次で九州各府縣なり年齡は三才のもの最多く二才四才之に亞ぐ其產出地を道別にすれば昨年八月より十二月に至る五箇月間輸出額七百三十七頭中慶南五百六十九頭慶北七十五頭京畿四十頭江原道五頭平南五頭なり▲輸出諸掛費 檢疫設置後は檢疫前九日間牛舍に繫留十日目に檢疫を執行す是に對する諸掛費は問屋手數料一頭二十五錢と見積り二步五厘六十二錢五厘繫留中の飼草七日間九十一錢乃至一圓五十錢始め下の關迄の運賃一圓五十錢乃至三圓輸入税二十五十錢等の他下關に於て賣買さるゝ迄の雜費は十二圓五十錢乃至十三圓弱を要し檢疫施行以前の同雜費九圓四十六錢に比すれば輸入安全なる代りに二圓五十錢乃至三圓を增加するに至れり

●韓銀貨幣發行週報

(一)	銀行券總發行均高(自七月十日至七月十六日)	一三、一六二、九二九
內	正貨準備發行平均高	五、四六五、〇七二
	保證準備發行平均高	七、六九七、八五七
(二)	銀行券平均手許有高	六七七、三八〇
(三)	銀行券平均市場流通高	一二、四八五、五四九
(四)	硬貨發行高(七月十六日現在)	六、四四七、七四〇
內	金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
	同 十圓	五〇〇、〇〇〇
	同 五圓	五〇〇、〇〇〇
	銀貨五十錢	九二四、〇〇〇
	同 二十錢	一、五一七、五〇〇
	同 十錢	一、〇八三、〇〇〇
	白銅貨五錢	六一六、〇五〇
	青銅貨一錢	二七七、三九〇
	同 五厘	七九、八〇〇

●北韓定期船の勵行 北韓方面に於ける航路は原田吉田の兩商會に於て經營し日韓兩國政府の補助を受け定期を標榜し居るも其實際を見れば毫も之に伴はず所在各港民は爲めに非常の不便を感じつゝあり而して是れ貨物集散の僅少なるより自然濫航に流れたる所以なるべけんも斯くては折角政府が補助する目的を亡盡する次第なれば當局者に於ても一層其監督の勵行を要すると共に斯業者も亦茲に注意して確然たる定期航路たらしめざるべからずとて咸北道書記官は其旨稟請し來れりといふ

●日韓瓦斯の總會期 日韓瓦斯電氣會社にては今月半期決算期なるを以て來月二十八日頃東京に於て定時株主總會を開く由尚ほ同社にては今回馬山に電氣事業開設に就き定款改正の要あるを以て定時總會に引續き臨時株主總會を開く由

●婦人會役員の出迎 統監夫人及令嬢は兒玉書記官同伴來る二十一日午後八時十分南大門着入京すべきに就き在京城愛國婦人會役員及有志は同驛に出迎する由

●慶南地方麥作豫想 慶尙南道觀察道の調査せる所に依れば同道本年度の麥作豫想は旱害、風雨害虫害等を綜合したる結果約三割の減收にて七分作の見込みなりと云ふ

●韓銀重役會議開催 韓國銀行にては十九日午前十一時より總裁室に於て重役會議を開き韓銀監理官藤原銀行課長も出席せり

●岡崎遠光氏東上 日韓瓦斯電氣會社受締役の同氏は株主總會出席の爲め來月五日當地出發東上すべしと云ふ

●本田博士の入京 水原勸業模範場長の同博士は十八日入京巴城館に投宿

●昨今の金融界 韓國の金融界は本年三月頃より漸次緩慢となり七月の頃は其絶頂に達して貨幣の發行高も十二月一月頃に比すれば例年今頃は三四百萬圓の減少するも今年は紙幣の發行高は一月以來引續き三百萬圓を下らず[illegible]に入りても[illegible]れ本年は大豆出廻り多くして且つ高値を保ちたることが重なる原因にして其他種々の原因あるならんも兎に角四五年來其例を見ざる順潮にして[illegible]

●朝日特派員南行 大朝特派員山本光三氏は母堂及令息渡韓に付其出迎の爲二十日朝釜山に直行廿一日歸京の由

●北[illegible]入京 [illegible]

●大澤獸醫の出張 憲兵司令部附大澤獸醫は增派馬匹受領の爲宇品へ出張

●池田嘉吉氏入京 韓銀大邱支配人の同氏は十八日入京不知火旅館に投宿

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
七月十九日	一〇五、六〇六、五六	三五〇

▲治外法權▼

別項馬關春帆樓に於ける小松參與官の談に因ると、寺内統監が歡送の席上で何も言はぬのは自身歡迎の爲の樣だ、亦新聞記者に向つて何も語らぬのは語ることを嫌ふのでなく、實際語ることの出來ない事情がある爲めの樣だ、されば寺内が斯く緘口すればとて之を彼の語ることを知らざるが爲に特に不得要領を看板としてゴマカシタ曾禰と同一視すべからざるは勿論の事だ▲寺内とて永遠には緘口して居まい、亦ダンマリ居られもすまい、何れ彼れが開口するの時機が來よう、まづ其時迄は記者も耳を封じて待たふ▲後藤が鐵道百年計畫と云ふのを立てた、百年計畫とは明治百年迄に我鐵道に關する諸般の計畫を成就さすのだソウだ、後藤の法螺は組織だつた法螺だ、彼は實際自家の法螺を實現させる積だろう、併し明治百年頃は飛行船の世となつて鐵道は廢物ダロウ▲ソレよりも鐵道院が遠からず關釜連絡に二艘の新造船を入れると云ふは我等にとつて好音だ、ドウか會下山式は一日も早く止めて欲しい▲新聞紙が他の新聞紙の事を書くのは樂屋落で讀者には甚だ迷惑の事だ、亦記者に於ても同業者の事を書くのは甚だ心苦しい事だ、併し官廳他の新聞紙にしてあまりひどい間違を傳へて居るとすれば之れを正さずには置かれぬ、況んや其當の新聞紙が統監府の御用紙たるに於てたやだ▲過日發表された日露協約第三條始めの一行に前記現狀を窘迫すべき性質の何等事件發生云々に對し京城日報は電報のときには侵迫の文字を使ひ、本文の時には侵約の文字を使つて居る、國紙の事だから定めし露語か佛語から譯したものであろうがソレでも窘迫と云ふ文字の處へ侵迫者しくは侵約はあまり當はまつて居らぬ▲夫れソレとして御一層ヒドイのは協約本文の記名者を▲ナイスポロスキーとしてある事だ、イスヴオルスキーがナイスポロスキーになつて居る、ナイスポロとは一体ドコの外務大臣か▲序に曰ふが此頃の京日紙は米國陸軍卿への二階から眼藥的の勸告やら内地學生署中休暇利用に就いてやらの緣遠い社說を掲げて居るが、只紙面を塡める爲にしてもあまり馬鹿〳〵しい、書く事がないなら社說など掲げずとも可なりだ。

●南大門外道路問題 停車場に通ずる南大門外道路開鑿に就て[illegible]日內部に於ては部分を以て土地收用に關する禁止を發したるも爾來三箇月餘を空過し未だ決定を見るに到らず利害關係者をして一方ならず煩悶を重ねしめつゝあり而して右遷延の事情に就ては何人も知る如く南側と北側とに別れ南側は現在道路を擴張し北側は更に新道路を設くるに在りて孰れにも若干の內地人の關係あり現に或る者は其運動費を三万圓にて引請けん杯と揚言し居る者もある歟當局も之を氣構へ殊更決定を[illegible]する次第なりと

●留學生の連袂歸京 暑中休暇を利し韓國留學生の歸國する者漸く增加し來れるが十八日夜の如き二十六名連袂入京したるを以て時節柄注目に値するが如くなれども彼等は至て靜肅にして何等不穩の擧動なし

●昨今の金融界 韓國の金融界は例年二三月頃より漸次緩慢となり七八月の頃は其絕頂に達して貨幣の[illegible]高も十二月一月頃に比すれば例年今頃は三四百萬圓の減少するも今年は紙幣の發行高は一月以來引續き二三百萬圓を下らず通貨も亦金融に應じて今月に入りても依然著しく減少せず[illegible]本年大豆出廻り好く且つ商價を保ちたることが重なる原因にして其他種々の原因あるならんも[illegible]

●朝日特派員[illegible] 大朝特派員山本光三氏は母堂及令息[illegible]に付其出迎の爲め[illegible]兩氏は十八日入京[illegible]に投宿す

小學教員に警告

突然の如でわるが感ずる所があつたので茲に警告する。坊主や教員や學者やなんども惡事――少くとも善くない事をすると坊主の僻にとか教員の僻にとか云ふ是れは坊主や教員や學者を品性の高いものと認めるから起る批難の聲である、今の坊主や教員や學者などには當て箝らぬ評である、彼れ等とても人間だと云ふ立場から見ると善くない行ひがあつたにしても當然と云はねばならぬ、酒を飲めば車夫や拘軍が醉ふものなら博士でも僧正でも教授でも訓導でも校長でも醉ふのである、車夫や馬丁が醉ふと平素の調子と狂ふ行爲があり夫れが又餘儀ない結果と認容られる以上僧正でも何んでも醉ふたら平素の行爲と正反對な擧動があつても容赦せねばならぬ、彼等も人間だもの、爛醉した人に位地や職業や階級やのあらう筈がない、爛醉した人は眠れる人と同樣である、眠れる人は寢言も云ふ屁も放れる博士だから僧正だからと云つて此れを責むるのは無理であると同樣醉へる人の行爲を一々道理の指金に當て〻云爲批難するのは無理ではあるまいか、彼れ等に酒を飲むと云ふことを許したる社會は其の醉ふことを許さぬとは云へまいとは僕の持論である、併し僕の思ふが如く現在の彼れ等が自ら許して居る傾きのあるのは不都合である、一旦眠りや醉より覺めて猶且つ夢中の寢言を繰返し又は醉中の非行を繼續するに於ては其の社會に占むる地歩の上より見て寬容することは出來ぬ、元來彼等も缺點多き人間ではあるが其の執れる職務上爲し得べからざる事がある――如何に必要に迫られても――例せば巡査が官帽帶劍で巡回中突然小便を催すとするか如何に堪ね難くとも一般人民が斯る場合に執るべき手段即ち溝渠に放り飛ばすことの出來ぬと一班である何故に然うかと云ふことを説明するのは餘りに讀者を侮辱するもので又必要がない、而して斯う云ふ苦痛は大學教授なんと云ふ學士博士の連中には少くして却つて小學校の教員連に多いと云ふのは前者は科學者で後者は德育者であるからだ、小學校で教育する所は人の社會に處する根本定義を訓ゆる――大きく云へば人と動物との分岐點を敎へるものであるからだ、故に實踐躬行でなければ駄目だ、此の種の階級の人は自分が醉へば常態を逸する恐れありと思考られた以上は禁酒する丈けの覺悟が必要だ、微醉機嫌の散歩なぞは此の種の人々には絕對禁物だ、暮夜青樓に放歌し校庭に修身談をした所で生徒は却つてチャンチャラ可笑しく思ふのみで些の效果もないのみか却つて惡影響―僞善の實地教育となる愼みても謹むべき事である僕が初めには彼れ等も同じ人間に在り得べきことゝ云ひながら後には許すべからざる罪惡の如に論ずるのを矛盾と見らるゝ人もあらふ夫れは決して矛盾でないのだ、彼等の一擧一動は幾多青年子女に惡毒を流すからだ、其行爲は何處迄も責むるに値すると思ふ(ひの字)

短氣な仲裁人

▽折角の親切も夫でフイ 大阪難波新川二丁目六百六十六の韓人飴屋李春伯は京城生れの男にて可かり日本馴た男だが女房の李乙野はそれにも增て廿年も日本の空氣を呼吸し言葉などは日本人と毫しも異らぬほどで行商人を澤山置き相應に收入もあるらしい所で行商人の一人たる某韓人が飯代を拂はずに何方へ行たから探してゐると十五日の午後九時半ごろブラリと戻つて來たので居合した十二三名の韓人が四方を圍みワイ〳〵と喚き立て急には濟みさうに見ねないから直ぐ向ふの村井重吉方にゐる鋸の目立職石田愛之助(三二)といふ京都人が同家と知り合ひの間なるより仲裁する積りで出掛け同じ國のものは友情がなければ困るぢやないかとて斯う他國へ來てゐれば一層交情よくしなければならぬと日本魂を出して大に論したが悲しいことには立會ひの韓人連にサッパリ解らず却て出戻り男の肩でも持に來たかのやうにワイ〳〵と言ひ出した、併し女房の李乙野は前いふ通り日本語が能く解るからナニお前さんこの男の方が惡いのだから心配やすに打捨といて下さいと斷つたのを一盃飲でゐた愛さんはグッと癪に支へ近所のものが仲裁しに來たのに打捨といてくれとは何だと怒り出すと一方韓人等も一層騷ぎ出し如何なる事かと近所の者が案ずるところへ折よく難波署の巡査が通り掛り双方を諭して事濟だが愛さんが少し惡い如なり

男らしき料理店主

▽五百八十圓に製斗 一般の料理屋飲食店にして藝妓酌婦仲居等を抱へたる彼女が病氣等に罹り意の如く職業が勤まらざれば或は虐待するとか或は口入屋と共謀して他に鞍替へさせる等惡手段を廻らし遂に不幸なる者は其の病氣全癒の期を逸せしめ救ふ可らざる悲境に陷らしむるが多き中に本町一丁目裏通り料理屋君の江事長谷川精一(三二)は昨年八月兵庫縣津名郡生瀨村字生田生れ片平くに(二二)を三百圓にて酌婦として抱へしに不幸にして同人は本年一月頃より病氣にて藥の飲み續けにて目的の稼業は意の如く行かず然れども樓主は勿論家族等迄嫌味を云はず親切に服藥させ居りしに病氣は變して肪膜炎となり入院の巳むを得ざるに至り安東病院に入院約二箇月餘治療せしめしも其の効なく大韓病院に入院する事となり七週間入院せしも此れ又更に効なく醫士の方より鄕里に歸り海濱に於て靜養せば或は全快の見込みあるも到底目下の所全治の見込なしと云ふも本人くには多額の前借あることゝて歸國は望まぬと云ふに抱主長谷川は感心にも大金三百圓に治療代二百五十圓以上ある上旅費三十圓を與へ若し全治の上再び渡韓して勤め呉るゝとも又は一圓宛なり返金せんと思はゞ夫れでも善し何れとも前の勝手なれば決して心配するに及ばずと證文迄卷いて歸し遣りしとは男らしき亭主が振舞ひ心憎き程面白し

芽出度き留學生の一家

▽夫婦兄弟とも成績優良 東京麴町區土手三番町韓國京城京畿道長湍郡東面瑞谷山後洞生れ尹台鎭(三〇)は三十七八年戰役當時東京に留學し第一中學校を經て明治大學に入學し今回目出度卒業したるが妻李効貞(十七)は昨年夫人を慕ふて渡來し九段坂上和洋裁縫女學校洋服科に入學し是又た十五日卒業證書を授けられたり尚は台鎭の弟怡鎭(二四)及効貞の兄圭衡(二〇)も亦前後して東京に至りて目下北多摩郡羅島村戊進社蠶業講習所に入學し勉强中なるが台鎭の如きは將來有望の紳士と目され効貞は留學生中最も手工に巧みなりとは芽出度

女振り

俵孫一氏夫人
俵松子

俵君は明治三十年出の英法專攻の法學士で現韓國學部次官で土地調查局副總裁であることは諸君の承知せらるゝ所で西小門內の同官舍に居らるゝ、島根縣那賀郡濱田町大字原井の產で明治二年五月の出生である、俵君は帝大在學當時も成績優良且つ品行方正であつた、現在も又然うで謹嚴な美丈夫である、此の將來に多大の望を囑して其の愛孃を嫁がせたのが三菱銀行の重役三村君平君である夫人まつ子は明治十五年七月の出生だ本年正に二十九歲壬午一白納音が楊柳木とある、極めて人交際のよい而して至極柔和の質だが、又而して一面非常に氣忙しい所がある、と云ふと甚だ不可思議の如ではあるが決して不思議はない人は必ず此の二個の撞着したる個性を有するものだ、富裕の家に生れて此の發達の士に嫁がれた夫人は定めて華美な生活を爲るゝであらうと思はるゝが事實は決して左樣でない、極めて質素なものである、十歲の精一君を頭に四男一女の子持ちだが二男の君は當地に見へぬ、長女の淑子さんは九歲で祐さんや季の弟さんを可愛がつて御座る、夫人は他の大官紳商連の夫人方と共に愛國婦人會役員である、夫人曰く子供が多うムいますので何時も皆樣に斗り御迷惑を掛けますことゝで仰云るが實は御病身なので昨年は馬山に靜養せられた今年は仁川に避暑せらるゝ相だ、夫れは然うと夫人の病身なのは良人俵君が一夫一婦主義を嚴守する爲めだと云ふ噂もあるが實際の所は女振り子には判明せぬのである。

女房を酌婦に賣る

▽賣られる奴は貞女かね 大和町三丁目梶常太郎方雇人大野利三は內緣の妻岸本くまを本年五月十三日前借金五十圓にて京畿道利川郡利川邑料理屋富山吉三方に酌婦奉公させしに滿二ヶ月勤めさせし後金策出來せしに付金三十八圓を送付しくまに歸京す可き樣申遣したるも先方抱主富山が暇を出さぬ爲め歸京出來ぬとのことに富山吉三說諭方第二憲兵分隊に願出しに付利川憲兵分遣所に照會せしに富山吉三の申立に因れば本年五月十三日樓主富山が酌婦雇入に當地に來り本町一丁目口入屋惠比壽屋の周旋にて四ヶ月の契約にて雇入れ契約期間內は廢業を禁じ若し不得已事情にて廢業若しくは鞍替へするときは前借金に對し相當の利息幷に旅費等迄辨濟すべき筈に付契約通り履行するにあらざれば暇を出す能ずとの事に付第二分隊に於ては事民事に屬するを以て可然大野に諭したりと

文林堂家宅再搜査

▽仁川裁判所の活動 仁川仲町及び京城本町に店舗を有し亦た日韓貿易會社重役として可なりの名聲ある文林堂町田文次郎が詐欺取財の犯罪に依り其筋に拘引せられ目下仁川裁判所春川豫審判事主任の下に豫審中なるが十八日午後右春川判事は早川書記を從へ亦た仁川署より野村警部坂下今井石川の三刑事と共に仲町二丁目の町田文次郎商店に出張し家宅搜索を執行したるが果して有力なる證據物件を查收したるや否やは此處に明記すべき限りにあらず

賣國嫌疑將校の捕縛

▽大阪にて機密圖書押收 原籍和歌山市新町三丁目二十番地士族豫備陸軍砲兵大尉正六位勳四等野口傳太郎(四二)が去る十四日長春憲兵隊の手に捕はれたる事件の內容は日露戰爭後淸國より內地へ送還すべき重要書類入の一箇を竊取し自分の實弟大阪西區廣海商會所有汽船江戶丸乘組一等運轉士野口源之助方押入床下に埋め置き機を見て某國に賣渡すべく奔走運動の爲め渡淸したる事實露顯したるに因るとか果して事實なりとせば由々敷大事と云ふべし

●暴徒密偵の逮捕 京畿道長湍郡山店里李周甫は明治四十年十月暴徒蜂起當初より賊魁朴宗演の部下となり暴徒募集員として各地に至り暴徒を蒐集し諸所を橫行中明治四十一年十月麻田郡に於て憲兵と交戰し敗衂したる後は賊魁延起羽の小隊長となり或は良民を斬殺し或るときは民家に放火する等非行を逞うし各所を荒す內昨年六月朔寧郡に於て憲兵と交戰し同年十一月長湍郡に於て賊魁と話し合ひ京城に於ける政界の狀況を視察の目的にて來京寄留地中部磚洞に潛匿し當地の狀況を觀望しつゝある事京城第二憲兵分隊の探知する事となり一昨十八日逮捕せられ目下取調中なりと

●賭博現行犯引致 福岡縣八平民當時曙町表具職加藤熊吉(三八)福岡縣八平民當時大和町三丁目六十番戶渡邊ソツ方表具職遠藤茂一(三七)大分縣平民當時曙町百十一番戶吉本幸吉內緣の妻三重野あり(三五)山口縣八平民當時曙町百十七番戶表具職南部熊雄(三三)の四名去る十八日午後一時頃前記南部熊吉方に於て車座を爲し金錢を賭し花札を以て賭博を爲し居る事を南部署長野刑事等探知し現場を取押へ證據品を押收本署に引致目下取調中なりと

●日人持兇器强盜 高松市生れの佐藤定一(三二)と云ふは元山より去る十八日仁川に陸行し來り韓人宿に投せんとしたるも腰に油紙に包みし刀の如きものを携へ一見泥棒らしきにぞ韓人は震ひ上り矢庭に表戶を占めたるより詮方なく仁川署に身分證明方願ひ出でしかば係警官は取調べたるに右の次第と判明し而も腰に提げたる怪しき包は兇器なりしとは阿呆らし

●賭博犯人の處刑 嚮きに銅峴分署に檢擧せられたるチーハー事件の張本栗田富五郎(三四)外四人に對する事件は爾來京城裁判所花田判事秋場檢事の係にて審理中の處十八日栗田富五郎は懲役十箇月に吉本幸吉(三二)三浦萬平(三九)秋山榮藏內緣の妻長藤もり(三五)風原飯吉(二四)は各懲役二箇月に處せらる

●不良飲料水投棄 仁川京町三丁目篠崎店及び內洞趙王山、花房町二丁目津川とく、支那町一丁目竹本喜太郎方にて販賣せる蜜柑水は腐敗の傾あり沈澱物さへありて飲料不適と認めしかば一昨日其筋より投棄を命せらる

●裁判だより 辻本茂左衛門は二十二日△多田藤四郎外三名の恐喝取財は二十五日△谷川三藏の橫領並に詐欺事件は二十九日孰れも公判開廷の筈

目と耳

▲歌舞伎座 既に乘込開演中の如く報じたる奇術師宮岡天外は漸く昨十九日乘込み二十日初日を出す都合なる旨申來れり誤報せし段を謝す

▲浪花館 今回木戶場代金十錢均一となした、同館十九日の番組左の如し 荒尾秀丸(浪花松朝)澁川武勇傳(吉田松葉)筑前騷動(吉川秀奴)幡隨院長兵衛(岡本伊之丸)いかるが平次の傳義士本傳通し(吉川秀廣)

▲壽座 廿日の代り番組左の如し 笑ひ福(一場)妙案(二場)戀之手帳(三場)芝濱之皮財布(三場)美顏術(三場)

●東雲會の景況 去る十七日各新聞社長贊成の下に南山本願寺に於て書畫會開催したるに非常に盛會なりし而して逸品金屛風は抽籤の結果京城ホテルに落籤したりと云ふ

今日の運勢

七月廿日舊六月十二日八白 赤口丙戌 平△一白●賣買貸借金談婚談見合せの事●選失物失防ぐべし△二黑●新事見合せの事親疎の者より損害又は無心あり△三碧●新事旅行見合せの事爭論詭計防ぐべし△四綠●物事埒明かぬ日なり色情痴情の破れを戒しむ農林業には吉△五黃●保證引受世話事あり尙金錢出納に間違起り易し△六白●收効の日開店業行商探險婚談共同團結に吉△七赤●訂約談議請願婚談吉酒色の害を戒しむ△八白●新事改易の事効なし保證受印世話事を禁ず△九紫●利殖の日賣買貸借雇入れ吉旅行は見合せ尙痘病衛生に注意すべし

●天氣豫報(自十九日午後六時至二十日午後六時) 南風曇少雨後晴
十八日(華氏) 最高溫度 七四、八 最低溫度 七〇、〇